

YAMAGUCHI 2026

臨床研修・専門研修

ガイドブック

山口ではじめる、

My Medical Story.



自分を信じて、歩き出そう!

山口ではじめる、

My Medical Story.



この努力が、明日の自信になる。

山口ではじめる、

My Medical Story.



山口の夏、関門花火と、最高の同期たちと。

山口ではじめる、

My Medical Story.



休日は、お気に入りのカフェでひと休み…

山口ではじめる、

My Medical Story



同じ道を歩く仲間がいるって、心強い!

山口ではじめる、

My Medical Story.



この日々が、きっと私を強くする。

山口ではじめる、

My Medical Story.



山口ではじめる、

My Medical Story.





山口ではじめる、

My Medical Story.

山口県では15の基幹型臨床研修病院をはじめ、協力型臨床研修病院や研修協力施設において、次の **4つのポリシー** を共有しながら研修を行っています。

Policy

01

プライマリ・ケアの基本的な診療能力の習得、ならびに医師としての人格の涵養を通じて、

研修医の皆さんを
将来の医療の担い手として育成します。

Policy

02

研修医の皆さんと

ともに質の高い医療を

追求し、山口の地域

医療を守ります。

Contents

- 2 15の基幹型臨床研修病院
- 19 当直レポート
- 21 31の専門研修プログラム
- 23 各プログラム基幹施設における身分および処遇
- 56 特集 山口県で専門医になろう！
- 58 山口県の取り組み
- 60 山口県の紹介



これを見れば、臨床研修から専門医取得まで、
山口県内での **一貫したキャリア形成** がイメージできるはず。

Policy

03

研修医の皆さんの
声を聴き、柔軟な
研修プログラムを
実施します。

Policy

04

後期研修も見据えた
キャリア形成を
サポートします。

山口県 15 の



同じ道を歩く仲間がいるって、心強い!

1

国立病院機構

岩国医療センター

P.4



〒740-8510
岩国市愛宕町1-1-1

TEL0827
34-1000



<https://iwakuni.hosp.go.jp>

2

山口県厚生農業協同組合連合会
周東総合病院

P.5



〒742-0032
柳井市古開作
1000-1
TEL0820
22-3456



<https://shuto-hp.jp>

3

地域医療機能推進機構
徳山中央病院

P.6



〒745-8522
周南市孝田町1-1

TEL0834
28-4411



<https://tokuyama.jcho.go.jp>

4

山口県立
総合医療センター

P.7



〒747-8511
防府市大字大崎
10077
TEL0835
22-4411



<https://www.ymgph.jp>

5

山口県済生会
山口総合病院

P.8



〒753-8517
山口市緑町2-11

TEL083
901-6111



<http://www.yamaguchi-saiseikai.jp>

6

総合病院
山口赤十字病院

P.9



〒753-8519
山口市八幡馬場53-1
TEL083
923-0111



<http://www.yamaguchi-redcross.jp>

7

山口県厚生農業協同組合連合会
小郡第一総合病院

P.10



〒754-0002
山口市小郡下郷
862-3

TEL083
972-0333



<http://www.ogoridaichi.jp>

臨床研修病院



8

山口大学 医学部附属病院

..... P.11



〒755-8505
宇部市南小串1-1-1
TEL0836
22-2129



<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/hosp/>

9

医療法人社団 宇部中央病院

..... P.12



〒755-0151
宇部市大字西岐波
750
TEL0836
51-9286



<https://www.ube-hp.or.jp>

臨床研修病院

10

医療生活協同組合健文会 宇部協立病院

..... P.13



〒755-0005
宇部市五十目山町
16-23
TEL0836
33-6111



<https://mcoop-kenbun.jp>

11

労働者健康安全機構 山口労災病院

..... P.14



〒756-0095
山陽小野田市大字
小野田1315-4
TEL0836
83-2881



<https://www.yamaguchih.johas.go.jp>

12

地域医療機能推進機構 下関医療センター

..... P.15



〒750-0061
下関市上新地町
3-3-8
TEL083
231-5811



<https://shimonoseki.jcho.go.jp>

13

国立病院機構 関門医療センター

..... P.16



〒752-8510
下関市長府外浦町1-1
TEL083
241-1199



<https://kanmon.hosp.go.jp>

14

山口県済生会 下関総合病院

..... P.17



〒759-6603
下関市安岡町8-5-1
TEL083
262-2300



<https://www.simo.saiseikai.or.jp>

15

地方独立行政法人 下関市立市民病院

..... P.18



〒750-8520
下関市向洋町1-13-1
TEL083
231-4111



<https://shimonosekicity-hosp.jp>

独立行政法人 国立病院機構

岩国医療センター

所在 〒740-8510 山口県岩国市愛宕町1-1-1

山口県東部唯一の救命救急センターを有し、年間約2万人の救急患者に対応。疾患については二次医療圏で唯一、循環器科と心血管外科を併せ持つ医療機関として高度診療にあたっています。地域周産期母子医療センターに加え、山口県中・東部および広島県西部地域唯一のNICUを有する施設で、広域を対象に新生児重症救急患者の診療を担当しています。

募集人数 **12名** 病床数 **484床**
(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目：約422,000円/月
 給与2年目：約422,000円/月



研修プログラムの特徴

一般内科医の養成と、将来内科系あるいは外科系の専門診療科を専攻しようとする人に対して、基本的に有すべき知識や技能と態度を習得することができる研修プログラムです。プライマリ・ケアが十分に実行できる医師を養成するとともに、以後の専門領域研修のための基礎を築くことを目的としています。

研修スケジュール例

1年目	内 6カ月	救 2カ月	選 2カ月	外 1カ月	麻 1カ月
内…内科、救…救急、選…希望する診療科を選択、外…外科、麻…麻酔科					
2年目	小 1カ月	産 1カ月	精 1カ月	地 1カ月	選 8カ月
小…小児科、産…産婦人科、精…精神科、地…地域医療、選…希望する診療科を選択					

関連病院 等

- ・ 広島西医療センター
- ・ 柳井医療センター
- ・ いいいケア・クリニック
- ・ 山口大学医学部附属病院精神科
- ・ JA広島総合病院
- ・ 恵愛会柳井病院 ほか

主な勉強会

- 研修医勉強会〈毎週1回〉
- 内科CPC〈隔月〉
- 院内感染症勉強会〈毎月1回〉

指導医

[消化器内科]

藤本 剛 医師



Q 山口県の研修病院としての良さは何だと思いますか。
 都市部の大病院にはない「ちょうどよいサイズの病院」が点在しています。どの病院も魅力的で初期研修には最適だと思います。

Q 山口県に住んでいて感じる魅力を教えてください。
 気候は温暖で住みやすく、そこに暮らす人達は温厚です。車でちょっと走ればきれいな海や緑豊かな山があります。食事もおいしく、地酒もたくさんあり居住環境は最高です。

Q 指導において心掛けていることは？
 目の前の患者さんの「病気」を診るだけではなく、「病気を患った人」を診ることが大事だと思います。そして何故そうなのか？と常に疑問を抱き「リサーチマインド」を養うような指導を心掛けています。

Q 医学生へのメッセージ
 当院は実践中心の病院です。実際に手を出して考えることができる病院です。多くの症例を経験して立派な臨床医になってください。

研修医

研修医2年目[山口大学出身]

谷 美沙紀 医師



Q 研修先病院として選んだ理由は？
 見学に行った際に、コメディカルの方々や先生方がとても優しく、雰囲気も素敵な病院だと思ったからです。

Q この病院を選んでよかったことは？
 周りの方々に恵まれたことがよかったと思います。また、米軍基地からの患者さんや軽症から重症まで多くの背景を持った方のファーストタッチができることがよかったです。

Q 研修で最も身についたことは？
 まだまだできていないことの方が遥かに多いですが、救急にいられた方の鑑別・初期対応・治療方針を考えられるようになったと思います。

Q 医学生へメッセージ
 当院は様々な手技や症例を研修医が主体となって経験できる病院だと思います。興味がある方はぜひ一度病院見学にいらしてください。



お問い合わせ先

担当部署：管理課 | 担当者：白石 彩夏 | 電話：0827-34-1000
 Eメール：513-sy01@mail.hosp.go.jp

周東総合病院

所在 〒742-0032 山口県柳井市古開作1000-1

波静かな瀬戸内海を望み、緑の山々に囲まれた風光明媚な丘陵に立地。柳井医療圏唯一の二次救急指定病院で臨床研修指定病院、災害拠点病院、がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院でもあります。急性期病院として救急患者や紹介患者を積極的に受け入れ、地域の介護・在宅医療への取り組みも進み、地域の医療・介護・福祉との連携が非常に良好なことも強みの一つです。

募集人数 **3名** 病床数 **328床**

(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目: 500,000円/月
給与2年目: 600,000円/月

研修プログラムの特徴

医療圏で唯一の総合病院であることから、地域に密着した診療を行うことを重視しており、多彩な症例があります。最新の診断装置も整備し、初診→診断→治療を通して経験できます。また3名枠の研修医であるため、臨機応変にプログラムの対応が可能な点もメリットとして挙げられます。

研修スケジュール例

1 年 目	内 24週	救 12週	外 4週	小 4週	産 4週	精 4週
	内…内科、救…救急、外…外科、小…小児科、産…産婦人科、精…精神科					
2 年 目	地 4週	選 48週				
	地…地域医療、選…選択科					

関連病院 等

- ・ 恵愛会柳井病院
- ・ 光輝病院
- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 周防大島町立大島病院
- ・ 長門総合病院
- ・ 岩国医療センター ほか

主な勉強会

柳井内科医会、周南医学会、山口県農村医学会、全国農村医学会、BLS、ACLS、院内の研修会・事例検討会 など

プログラム 責任者 [外科] 瀬山 厚司 院長



研修医 研修2年目[山口大学出身] 竹本 匠 医師



Q 当院の研修病院としての良さはどんな点ですか?
日本有数の高齢化地域にありますので地域に密着した高齢者医療を研修できることが特色だと思います。都市部も今後更に高齢化が進むわけで、当院では時代の先を行く研修ができると思います。

Q どんな指導を心掛けていますか?
これまでの学生感覚を捨て、職業として一生この仕事を続け、自分や家族を支える糧を得るというプロ意識を持つよう指導しています。

Q 山口県の良さはどこに感じますか?
瀬戸内の温暖な気候と美味しい食べ物は魅力的です。

Q 医学生へのメッセージ
自分と同じ境遇や価値観を持った先輩の意見が最も参考になります。

Q 研修先病院として選んだ理由は?
病院見学に来た際に研修医の先輩から多くの執刀を経験できるというお話を聞き、自分も早いうちから外科医としてのキャリアを築きたいと考え、当院での研修を志望しました。また、緊急医師確保対策枠で入学しており、研修指定病院のなかで過疎地域に認定されている病院は周東総合病院だけということも志望した理由の一つです。

Q 研修病院としての特色を教えてください。
病床数に対する研修医の数が少ないため、多くの研修医基本手技(CV確保・挿管など)を経験できます。また、上級医の先生とのマンツーマンの手厚い指導の下で診察、検査、診断、その後の方針まで研修医が主体性をもって診療に取り組むことができます。

Q この病院を選んでよかったことは?
当院は自分の積極性次第で、どんなことにでも挑戦させてもらえる研修病院だと思います。また、総合診療科の先生方が中心となって症例に対する勉強会、抄読会を開いてくださっています。研修医の数が少ないので、どの科の先生方も熱心に指導してくださり、充実した研修生活をおこなっています。

Q 医学生へのメッセージ
当院は他の研修病院と比べて人数が少ないですが、その分多くの症例や基本的手技を学ぶことができます。周防大島や徳山、岩国、広島も近く、遊びにも苦労しません。是非一度病院に見学に来てみてください。



お問い合わせ先

担当部署: 総務課 | 担当者: 藤川 誠 | 電話: 0820-22-3456
Eメール: m.fujikawa@hsp-shuto.jp

3 独立行政法人 地域医療機能推進機構 徳山中央病院

所在 〒745-8522 山口県周南市孝田町1-1

山口県東部3市、約25万人を診療圏とする地域最大の基幹病院として、1次から3次救急まで対応する急性期医療を担っています。入院・外来・救急患者とも非常に多いことから各研修医が多様な症例を経験でき、密度の高い研修を受けることができます。外科系の手術、内科の心カテ、PCI、内視鏡の検査・治療件数においても県内最多施設の1つです。

募集人数 **18名** 病床数 **519床**

(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目：460,800円/月
給与2年目：497,920円/月



研修プログラムの特徴

1年目の救急研修では救急部の他に、各診療科の特徴的な救急疾患についても講義・実習を行います。また2年間を通して救急部及び各科専門医の下で救急研修を実施し、高い診療能力が身につきます。2年目は基本的診療能力の習得のほか、高度な専門的医療の現場で学べるよう、将来専門とする診療科の研修を約10カ月間設定しています。

研修スケジュール例

1年目	救 8週	麻 4週	内 24週	外 4週	産 4週	小 4週	精 4週
救…救急、麻…麻酔科、内…内科、外…外科、産…産婦人科、小…小児科、精…精神科							
2年目	地 5週	選 約10カ月					

地…地域医療、選…自由選択科

関連病院 等

- ・愛命会泉原病院
- ・周南市立新南陽市民病院
- ・山口大学医学部附属病院
- ・山口宇部医療センター
- ・萩市民病院
- ・周防大島町立大島病院 ほか

主な勉強会

救急外来モーニングカンファレンス〈毎朝〉、
救急ケースカンファレンス〈週1回〉、
院内ICLS講習会
(日本救急医学会認定コース)

プログラム [臨床検査科]
責任者 **宮原 誠 医師**



- Q 当院の研修病院としての良さはどんな点ですか？**
地域の基幹病院であるため、救急・外来・入院患者とも非常に多く、各研修医が豊富な症例を経験でき、密度の高い研修を受けることができます。各科の垣根は低く連携が取れており、また研修医同士の仲が非常に良いのも当院の魅力です。
- Q 研修内容のセールスポイントは？**
各個人に見合った研修が組めるようプログラムに柔軟性を持たせており、指導医と研修医のマンツーマン方式を基本としております。医師のみならず全職員が病院を挙げてサポートしています。
- Q 指導において心掛けているのは？**
ただ単にパターンで覚えるのではなく、基本に立ち返り、『なぜそうなのか』の“なぜ？”を常に意識するよう指導しています。
- Q 医学生へのメッセージ**
当院で医療の専門的技術や知識を習得すると共に、“こころ”に寄り添う医療をぜひ我々とともに学んでいきましょう。とてもやりがいのある病院ですよ。

研修医2年目[山口大学出身]
研修医 **西村 遼河 医師**



- Q 研修先病院として選んだ理由は？**
徳中を選んだのは、毎朝の救外カンファレンスや心強い上級医の存在など手厚いバックアップの下、多様で豊富な症例を最前線で経験することができるからです。
- Q この病院を選んで良かったことは？**
救外当直や日々の診療に加えて、定期的に行われるカンファレンスやレクチャーなどフィードバックを得られる機会も多く、臨床で大切な知識や考え方、技術をしっかりと習得できる点です。
- Q 研修で最も身についたことは？**
一人ひとりの患者さんについて、問題点を適切に評価・解決するために自ら考える力です。
- Q 医学生へのメッセージ**
たくさんの同期や上級の先生方に支えられながら日々臨床研修に向かっています。より実践的な医療を身に付けたい方はぜひ徳中へ！徳山、とてもいい街ですよ！



お問い合わせ先

担当部署：総務企画課 | 担当者：勝津 広大 | 電話：0834-28-4411
Eメール：main@tokuyama.jcho.go.jp

4 山口県立 総合医療センター

所在 〒747-8511 山口県防府市大字大崎10077

当院は防府市にある総合病院であり、救命救急センターでは一次から三次までの救急患者を多く受け入れるとともに、地域がん診療拠点病院としてがん診療を積極的に推進。総合周産期母子医療センターにおいては県内全域から搬送されるハイリスク妊婦・新生児に対応。他に基幹災害拠点病院、感染症指定医療機関としての危機管理や対応訓練も定期的に行っています。

募集人数 **13名** 病床数 **504床**

(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目：520,000円/月
給与2年目：570,000円/月



研修プログラムの特徴

医師としての人格を涵養し、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会的ニーズを認識しながら日常診療での病気や病態に適切に対応できるようプライマリ・ケアの基本的な診療能力(態度・技能・知識)を身につけることが研修目標。各科の垣根がなく指導医とマンツーマンで患者を担当し、多くのことが学べる体制が整っています。

研修スケジュール例

1年目	内 24週	外 4週	外科系 4週	小 4週	救 8週	精 4週	産 4週
	内…内科、外…外科、小…小児科、救…救急(麻酔含む)、精…精神科、産…産婦人科 外科系…1年目の外科系1ヶ月は、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科の6科から選択。						
2年目	選 4週	地 4週	選 40週				選※ 4週

地…地域医療、選…選択科 ※未達成の診療科

関連病院 等

- ・ 山口県立こころの医療センター
- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 下関市立豊田中央病院
- ・ 周防大島町立東和病院
- ・ 川上診療所 ほか

主な勉強会

救急疾患の初期治療講習会
(5月～8月に10回)
症例検討会(CPC)の実施(毎月)
基礎セミナーの実施(毎月)
総合内科カンファレンス(4回)

プログラム
責任者 **福迫 俊弘 医師**



研修医2年目[神戸大学出身]
研修医 **太田 侑吾 医師**



- Q 当院の自慢は?**
指導医の綿密でレベルの高い辛抱強い指導が特徴です。結果だけを捉えるのではなく、そのプロセスを重視した指導を心がけています。
- Q 研修内容のセールスポイントは?**
救命救急センターで数多くの患者のfirst touchを経験することができます。診療には指導医によるチェックが必ず行われており、また各科のバックアップにより、ミスの少ない高レベルの研修を行えます。
- Q どんな指導を心掛けていますか?**
綿密、丁寧、辛抱強く高レベルな指導を心がけています。主訴、病歴、所見から病態及び部位を推定し、治療を行い、退院後の家庭環境などにも配慮した患者さんのためになる研修の指導を目指しています。
- Q 医学生へのメッセージ**
経験豊富な指導医だけでなく、患者さんのことを考えた多職種による介入により、満足度の高い医療を提供しています。

- Q 研修先病院として選んだ理由は?**
医学生として実習をしていた際に、当時の研修医の先生がとても優秀で、私はその先生に憧れ県総を選びました。研修医の同期の数が多い点も私にとっては魅力的でした。
- Q この病院を選んでよかったことは?**
指導医の先生方やコメディカルの方々はもちろん優しく、また親身になって指導していただけます。学ぶ環境としては非の打ち所がありません。ロケーションも良く、防府のまちは落ち着いており、暮らしやすい環境です。高速道路へのアクセスは抜群で、休日には気軽に遠出することができます。
- Q 研修で最も身についたことは?**
医学的な知識や技術的な面だけでなく、的確なアセスメント力を身につけることができます。自ら提案したことについて指導医からフィードバックをいただいたり、患者さんの経過を追ったりすることで、日々の成長を実感しています。
- Q 医学生へのメッセージ**
志望科がどこであっても県総では有意義な研修ができます。内科系のイメージが強いかもしれませんが、外科系も充実しています。もちろん志望科に迷っている学生にもおすすめです。まずは病院見学だけでも参加してみて、当院の雰囲気を感じていただくと良いと思います。



お問い合わせ先

担当部署：総務課 | マッチング担当者：藤井 柊哉 | 電話：0835-22-4411
Eメール：soumuka@ymghp.jp

社会福祉法人恩賜財団済生会支部

山口県済生会 山口総合病院

所在 〒753-8517 山口県山口市緑町2-11

高度急性期・専門医療を通じ、二次救急を担う地域医療支援病院として山口市の地域医療を支える中核的な役割を果たしています。研修では1つの研修診療科に1人の研修医を割り当てるマンツーマン研修と、研修医の希望に沿ったカリキュラムが特徴。選択科目が自由に選べ、希望する研修を重点的に受けられるように変えることが出来ます。

募集人数 **6名** 病床数 **279床**

(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目：400,000円/月(日当直手当含む)
給与2年目：430,000円/月(日当直手当含む)
賞与2回(夏期・年末)



研修プログラムの特徴

急性期医療を担う当院と、老人性認知症を中心に精神科を診療する仁保病院、小児科・産婦人科を担当する山口赤十字病院及び近隣の社会福祉施設や開業医で研修を行うプログラムとなっています。各機関が効率的に連携している中での研修によって、地域連携や職員間の連携などを身につけることが可能です。

研修スケジュール例

1年目	救 4週	内 30週	外 5週	麻 5週	放 4週	選 4週
2年目	地 8週	一 4週	精 4週	産 4週	小 4週	選 32週

※救急部門研修を行う際、麻酔科、放射線科で学ぶ手技が必要となることもあるため、選択科ですが1年目より、麻酔科と放射線科を当初よりプログラムに組み込んでいます。

救…救急、内…内科、外…外科、麻…麻酔科、放…放射線科、選…選択科
地…地域医療、一…一般外来、精…精神科、産…産婦人科、小…小児科

関連病院 等

- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 仁保病院
- ・ 小郡第一総合病院
- ・ 山口赤十字病院
- ・ 長門総合病院
- ・ 済生会山口地域ケアセンター
- ・ 周防大島町立大島病院
- ・ 下関市立豊田中央病院
- ・ 美祢市立病院
- ・ 美祢市立美東病院
- ・ 岩国市立錦中央医院

主な勉強会

研修医による勉強会(月1～2回)
ICLS講習会(年1回)
CPC(年1回)
各診療科カンファレンス(週1回)

指導医

[泌尿器科部長]

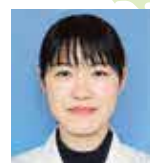
大場 一生 医師



研修医

研修医2年目[山口大学出身]

山崎 綾乃 医師



当院の自慢は?

当院は山口市の中核病院でかつ萩・益田方面の患者さんも数多く受入れている2次救急病院です。症例数も豊富ですが、各科の垣根が低く、アットホームなところが最大の特徴です。



研修内容のセールスポイントは?

基本的に各科1人ずつ研修していただきますので、マンツーマンできめ細やかな指導を行います。そのため実践的な手技や処置も早期に修得できると思います。また各科の垣根が低いので、困った症例をストレスなく相談できます。



指導において心掛けているのは?

“医師の心”をはぐくむことが大切です。研修医と共に指導する側も一緒に研鑽して参ります。



医学生へのメッセージ

“よく学び、よく遊べ” 山口市は自然豊かで、空気もきれいなので、スポーツをするには最適な環境です。充実した研修プログラムと共に有意義な2年間の研修生活を送りましょう。



研修先病院として選んだ理由は?

病院見学の際に医師や看護師さん含め多職種同士の会話や交流が多いと感じました。当院なら充実した研修だけでなく、楽しみながら2年間を過ごすことができると考え、当院を希望させていただきました。



この病院を選んでよかったことは?

先生方は勿論、看護師さんを含め他職種の方々も優しく、手厚く指導して下さるので失敗を恐れず沢山チャレンジをすることができています。そして入職時と比較して成長を実感しております。また、休日にはイベントに誘っていただき充実した毎日を過ごしています。



研修で最も身についたことは?

患者さんとの会話や観察など診察を通して状態や経過を判断することを学びました。初めは課題点も多かったですが、先生方にご指導いただきながら繰り返していき徐々にできるようになりました。また、患者さんを多職種同士が連携して多角的にケアしていくことも学びました。



医学生へのメッセージ

当院は研修医1学年6人の少数体制で、科の研修中には指導医の先生方・症例を独り占めすることができます。また、先生方だけでなく他職種の方々とも沢山交流することができ、充実した2年間を過ごすことができます。是非一度「やまさい」に見学に来てください!



お問い合わせ先

担当者：網永 英彦 | 電話：083-901-6405(直通)/6111(代表)
Eメール：kikaku-pr@ymg-saiseikai.jp

山口赤十字病院

所在 〒753-8519 山口県山口市八幡馬場53-1

山口県中部の基幹病院として地域医療に従事し、急性期を主体とした総合病院としての機能に加え、地域周産期母子医療センター、小児救急医療拠点病院として産科、小児科医療を実施しています。また、赤十字としての救護活動にも注力。多数の認定施設で専門的な知識、技術が習得可能です。

募集人数 **6名** 病床数 **377床**

(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目：430,000円/月（日当直手当含む）
給与2年目：460,000円/月（日当直手当含む）
賞与2回（夏季・冬季）

研修プログラムの特徴

当院は山口県・県北の基幹病院として2次医療圏に属しています。柔軟にプログラムが作成でき、各診療科ローテーションが可能。Common disease等、多数の症例を経験できます。糖尿病サポートチーム、栄養サポートチーム（NST）、院内感染防止（ICT）チームなどのチーム医療にも力を入れています。

研修スケジュール例

1年目	内 24週	救 12週※	外 8週	小 8週
	内…内科、救…救急部門、外…外科、小…小児科			
2年目	産 8週	精 4週	地 4週	選 36週
	産…産婦人科、精…精神科、地…地域医療、選…選択科目研修			

※救急部門は救急外来所属で、内科系・外科系・小児科のそれぞれの医師の指導のもと行う。

また、救急部門の12週のうち、4週は麻酔科研修とする。

※外科、小児科、産婦人科、精神科は4週～8週 ※地域医療研修は、2年目に4週～8週

関連病院 等

- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 宇部協立病院
- ・ 日本赤十字社和歌山医療センター
- ・ 山口県立総合医療センター
- ・ 関門医療センター
- ・ 下関市立市民病院 ほか

主な勉強会

ICLS講習会、BLS講習会、CPC（臨床病理検討会）〈年1回〉、金曜早朝講義、呼吸器セミナー、内科セミナー、消化器合同カンファレンス、抄読会〈定期的〉、その他各科症例検討会あり

指導医
(プログラム責任者)[内視鏡外科部長]
山中 直樹 医師

研修医

研修2年目 [九州大学出身]
川井田 悠史 医師

Q 当院の自慢は？

総合病院として内科や外科をはじめ多岐にわたる分野での専門的な指導医が在籍しています。産科小児科領域では地域周産期センター・小児夜間急病センターを有しており、山口圏域での周産期医療で重要な役割を担っています。また、赤十字病院としての特性である災害医療も積極的に活動しています。

Q 研修内容のセールスポイントは？

各診療科の垣根が低く、他科へ気軽にコンサルトや相談ができ、各診療科にまたがって診療ができます。市中病院のためCommon diseaseから希少な難病・特定疾患までバランスよく豊富な症例を経験可能です。研修途中でも希望があれば、柔軟に研修プログラムが変更可能です。

Q どんな指導を心掛けていますか？

基本的に診療科に1人が配属される体制にしており、研修医各々の習熟度に応じてマンツーマンに指導しています。救急の場では主体的に診療に当たってもらい、上級医から必ずフィードバックを受けていただきます。

Q 医学生へのメッセージ

当院は医療スタッフに恵まれており、自分のペースで研修ができます。病院周辺も風情ある街並みで、きっと楽しい研修生活が送れますよ。

Q 研修先病院として選んだ理由は？

初期臨床研修において必修としてローテーションするほとんどの科を院内で終えられるという点です。精神科と地域医療以外は、当院で完結することができます。その分、2年目に自分が希望する科を大学病院などの外病院で研修可能です。自由にローテーションを選択できる期間が長いことは、3年目以降の進路を考える点においても大きなアドバンテージです。

Q この病院を選んだよかったことは？

研修のしやすさです。当院の研修では、外来や病棟、救急の場面において、自分がしてみたいと思ったことは大概何でもさせてもらえます。また、上級医の先生方に限らず、経験ある病棟スタッフも研修医に対して親身になって教えてくださいます。

Q 研修で最も身についたことは？

救急での初期対応について学ぶことができます。特に当直は上級医の先生と一緒に行動するため、不安になることなく初期対応を実践できます。

Q 医学生へのメッセージ

これら以外にも、当院の魅力はまだあります。もし、お時間あればぜひ一度見学に来てください。研修医一同お待ちしております。



お問い合わせ先

担当部署：人事課 | 担当者：塩塚 優大 | 電話：083-923-0111
Eメール：jinnji@yamaguchi-med.jrc.or.jp

小郡第一総合病院

所在 〒754-0002 山口県山口市小郡下郷862-3

山口県中央部における地域中核病院として総合病院の機能を有しながら、国内外から研修医が集まる整形外科を有しております。外国人医師は常時2名おり、日常的に英語にふれることができます。二次救急病院として積極的に救急車両・ドクターヘリからの救急患者を受け入れています。外傷の症例は勿論、手外科、関節外科、脊椎外科それぞれの分野で最先端の医療を提供しています。研修の2年目には自由に選択可能な期間を長く設けており、整形外科専門医を目指している先生には最適の病院です。

募集人数 **2名** 病床数 **182床**

(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目: 500,000円/月
給与2年目: 600,000円/月

研修プログラムの特徴

地域中核病院として幅広い疾患を経験できプライマリ・ケアの基本的な診療能力が身につきます。診療所から地域の基幹病院まで多くの施設で研修が受けられるプログラムになっており、将来の方向性を見いだせます。基幹型の研修病院として常時15名の常勤医を指導医として頼ることができ、評価をミニマムEPOCで行うため、研修項目毎の指導医に評価を依頼できます。

研修スケジュール例

1年目	内 24週	救 8週	麻 4週	外 4週	小 4週	産 4週	精 4週
2年目	地 4週	選 48週					

内…内科(消化器・循環器・血液)、救…救急、麻…麻酔、外…外科、小…小児科、産…産婦人科、精…精神科

地…地域医療、選…選択科

関連病院 等

- ・ 吉南病院
- ・ 山口県立総合医療センター
- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 山口赤十字病院
- ・ やすの皮膚科
- ・ 阿知須同仁病院
- ・ 仁保病院 ほか

主な勉強会

症例検討会
(内科・外科合同、整形外科)、
CPC(随時)、
抄読会(整形外科)

プログラム [整形外科]
責任者 服部 泰典 医師

Q 当院の自慢は?

地域中核病院として、職員数の充実と研究研修に力を入れていますが、また得意とする整形外科のブランド化を積極的に展開しています。



Q 研修内容のセールスポイントは?

小規模病院でありながら、幅広い症例は勿論、世界最先端の整形外科治療を経験することができます。マンツーマンで対応することができ、整形外科を志望する研修医にとっては理想的な環境です。



Q どんな指導を心掛けていますか?

技術の習得のみではなく、基本的な知識の重要性を強調しています。



Q 医学生へのメッセージ

優秀な臨床医になるためには、目標とする先輩の下で働くことです。

専攻医 [大分大学出身]
研修医 曽根崎 至超 医師

Q 研修先病院として選んだ理由は?

多くの論文を出され、講演をされている著名な先生方がいらっしゃる病院であり、手外科・マイクロサージャリーの研修が可能な病院です。具体的な上達目標を掲げており、しっかり学べる環境だと感じ研修先として選択しました。



Q この病院を選んでよかったことは?

カンファレンスをしっかり行う病院であり、自分の評価・治療プランが正しいか客観的に評価してもらうことができ、大変勉強になりました。また、勉強の仕方自体を教わることで、一つ一つ系統立てて学ぶことを教わりました。



Q 研修で最も身についたことは?

手外科・マイクロサージャリーの世界を知り、学び、自身でも執刀する機会をいただきました。また、自分の考えをまとめてプレゼンテーションすることが研修前より上達したと思います。



Q 医学生へのメッセージ

学び方を教われる病院は多くありません。最先端の医学に携わっている先生方がどのように考え診療を行っているかを学ぶ非常に貴重な機会になると思います。



お問い合わせ先

担当部署: 事務長 | 担当者: 藤部 恭史 | 電話: 083-972-0333
Eメール: t-fujibe@ja-yckousei.or.jp

8 山口大学 医学部附属病院

所在 〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1

山口県唯一の特定機能病院である当院は、高度救命救急センターを設置し、ドクターヘリの基地病院として救急医療体制を担い、二次救急で対応できない複数診療科領域の重篤な患者に対し高度な医療技術を提供する三次救急医療機関です。教育・研修、研究にも力を入れており、最先端の機器を取り入れ、変化する社会の要望に貢献できる医療人の育成、新しい診断および治療法の研究開発を行っています。

募集人数 **16名** 病床数 **754床**

(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目: 431,400円/月
給与2年目: 431,400円/月
(当直手当、時間外手当を含む)



研修プログラムの特徴

プライマリケアから最新医療・専門的医療まで、大学病院と協力病院の特徴を生かした多様な研修が可能です。各専門領域に経験豊富な指導医がいるので、初期研修時から新しい専門医制度に対応した症例を学ぶことができます。

研修スケジュール例

① 全方向型自由設計コース	1年目	内 24週	救 12週	産 4週	外 4週	小 4週	精 4週
		内…内科、救…救急、産…産科婦人科、外…外科、小…小児科、精…精神科					
	2年目	選 8週	地 4週	来 4週	選 36週		
		選…選択科、地…地域医療、来…外来					
② 小児科・産科婦人科・周産期コース	1年目	産 4週	産(選) 8週	内 24週	救 12週	外 4週	
		産…産科婦人科、産(選)…産科婦人科(選択科)、内…内科、救…救急、外…外科					
	2年目	小 4週	小(選) 8週	地 4週	来 4週	精 4週	選 28週
		小…小児科、小(選)…小児科(選択科)、地…地域医療、来…外来、精…精神科、選…選択科					

※救急研修は麻酔科4週間を含むことができます。

関連病院等

- ・宇部中央病院
- ・山口宇部医療センター
- ・山口労災病院
- ・済生会山口総合病院
- ・小郡第一総合病院 ・山口赤十字病院
- ・関門医療センター ・下関市立市民病院
- ・済生会下関総合病院
- ・下関医療センター
- ・山口県立総合医療センター
- ・徳山中央病院
- ・周東総合病院
- ・岩国医療センター ほか

主な勉強会

研修医木曜セミナー(毎週木曜日)、
臨床病理検討会(CPC)(年6回開催予定)、
感染対策研修会(年2回)
ICLS、緩和ケア講習会 など

指導医

[糖尿病・血液内科]

宮崎 睦子 医師



研修医

研修2年目[川崎医科大学出身]

茶堂 純 医師



当院の自慢は?

現在病院再開整備中であり、新棟がR元年に開院した後、順次新しい検査室や外来ブース等がオープンしています。R6年度にPET-CTが導入されました。



研修内容のセールスポイントは?

数多くの診療科や協力型研修施設の中から研修医一人ひとりの希望に合わせて自由に研修プランが立てられます。たすき掛け研修によりコモンディーズから希少疾患まで広くカバーし、将来の専門領域を重点研修する等、内容の濃い経験が可能です。シミュレーターを用いた実習も充実!



どんな指導を心掛けていますか?

研修医目線で分かりやすく丁寧に、症例ごとに深く考察し、技術力だけでなく診断力がつくように指導します。



医学生へのメッセージ

山口大学では自分の将来を見据えたオーダーメイド研修が可能です。充実した研修になるようスタッフ全員でサポートしますので、是非一度病院見学へ来てください!



研修先病院として選んだ理由は?

大学病院だけでなく、たすき掛け制度で市中病院でも研修が可能であり、両者の良いとこ取りができることや、自分の興味がある分野に合わせて自由に研修スケジュールが選択できることに魅力を感じたからです。



この病院を選んでよかったことは?

大学病院では専門的な症例、たすき掛けの市中病院ではcommon diseaseといった幅広い症例を初期研修医の間で経験することができました。また大学では教育熱心な先生も多く、手厚い指導により質の高い医療を学べていると感じます。



研修で最も身についたことは?

市中病院では手技や救急対応、大学病院では先端医療や臨床推論の能力といった研修終了後にも医師として必要な内容がバランスよく身に付いたと思います。



医学生へのメッセージ

研修先の病院選びで迷っている学生さんも多いと思います。山で研修すれば山口県内の様々な症例を幅広く経験することができるので、将来県内で働きたいと考えている方には特におすすめです。



お問い合わせ先

| 担当部署: 総務課医師育成支援係 | 担当者: 久保 琢生

| 電話: 0836-22-2129 | Eメール: me209@yamaguchi-u.ac.jp

宇部中央病院

所在 〒755-0151 山口県宇部市大字西岐波750

UBE(株)の結核療養施設として1953年に開設以来、宇部市における市民病院的な役割を果たし、一般市民の利用が93%を占めています。「いつでもどこでも誰でも安心してかかる中央病院」を理念に地域の中核急性期病院として高度専門医療と24時間対応の救急医療を実践。平成26年10月より医療法人化し、地域医療支援病院の認定も取得しました。

募集人数 **5名** 病床数 **384床**

(令和8年度 採用予定人数)

待遇

給与1年目: 520,000円/月

(日当直手当・時間外等込)

給与2年目: 610,000円/月

(日当直手当・時間外等込)



研修プログラムの特徴

日常診療や日当直で頻繁に遭遇する疾患に対応できるように、プライマリ・ケアの基本的な診断能力(態度、技術、知識)の習得を目指します。2年目には文献検索、学会発表、屋根瓦式に研修医・学生さんへの指導も行ってもらいます。研修スケジュールは希望を聞いて調整しており適時変更も可能。小児科、産婦人科、精神科の研修は連携している山口大学医学部附属病院にて研修。

研修スケジュール例

1 年 目	内 24週	救 12週	外 4週	小 4週	産 4週	精 4週
	内…内科、救…救急部門、外…外科、小…小児科、産…産婦人科、精…精神科					
2 年 目	地 4週	一 4週	必修分野およびそれ以外の分野より選んで研修 43週			
	一…一般外来、地…地域医療					

関連病院 等

- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 山口宇部医療センター
- 地域医療研修:
- ・ 薩摩川内市甕島手打診療所
- (ドクターコトモデル診療所) ほか

主な勉強会

画像読影会(週1回)、
各部門、指導医によるレクチャー
(適宜)

指導医
(プログラム責任者) **井本 忍** 医師

[糖尿病・血液内科]



研修1年目 [山口大学出身]
研修医 **田中 涼太郎** 医師



当院の自慢は?

宇部山陽小野田地区の2次救急の約半分を担当しており、緊急の検査、入院、治療ができる体制を整えています。麻酔科スタッフも充実し緊急手術にも対応。速やかな診断、治療が可能で先生方の腕前が試されます。



研修内容のセールスポイントは?

研修医数は1学年4-5名で症例や手技を十分に経験することができます。研修医向けのレクチャーが充実しており実臨床経験の幅を広めてくれます。大学病院連携の臨床教育センターを設置しており文献検索閲覧、Up To Dateなどのアクセスが容易です。



どんな指導を心掛けていますか?

問診、診察から検査、診断に至る過程を重視しエビデンスを交えて論理的に示し、更にカルテにまとめられるように指導しています。またコメディカルとの連携と意思疎通(チーム医療)を大切に、患者さんへの十分な説明と理解に力をいれています。



医学生へのメッセージ

まずは自分がどんな医者になりたいかを考えて、希望を満たす病院を探してください。学生さん・研修医は積極的にフットワーク軽く行動したくさん学んでください。働きやすい当院に是非一度見学に来てください。



当院を研修先として選んだ理由は?

研修医向けの様々な形式のレクチャーがあり、医師として働くうえで必要な知識と技術を十分に身につけることができると考えました。指導医の先生方やコメディカルの方々は優しく接してくださり安心して研修医生活を送れると感じたからです。



どんな勉強会が行われている?

放射線の画像勉強会が週に1回あり研修医が救急の現場で経験する症例の胸部X線やCTやMRIなどの画像を勉強することができます。他にも豊富なレクチャーがあり、初めて医師として働くときに必要な輸液や抗がん剤の選び方、指示簿の書き方などを詳しく教えていただけます。



研修で最も身につけられたことは?

救急で必要になる採血やルート確保、胸腔穿刺や骨髄穿刺などローテートしている科で行われる手技を実践する機会があり身につけることができます。地域に根差したcommon diseaseを幅広く経験することができ、総合的な診断や治療を考える力がつきます。また、患者様の社会的背景や感情や環境を理解し患者様に合わせた医療を提供できるように考える力もつけることができます。



研修の特色はどこに感じる?

研修医生活を送るうえで必要な環境が充実しており、指導医の先生方やコメディカルの方々から手厚い指導を受けることができます。山口大学医学部附属病院の臨床教育センターもあり、参考書など充実した教育資源が活用でき適切な知識を得ることもできます。



お問い合わせ先

担当部署: 経営管理部 | 担当者: 藪 | 電話: 0836-51-9286
Eメール: ube-kenshu@ube-hp.or.jp

宇部協立病院

所在 〒755-0005 山口県宇部市五十目山町16-23

医療の安全性と平等性を地域で実践するために医療生協組合員と医療生協職員の手で創り上げた病院です。プライマリ・ケアを担う病院として、高度医療においては大学病院などの隣接病院と連携し、地域に求められている医療とは何かを意識しながら、安全・安心の医療と患者の人権を大切に医療、無差別平等の医療を推進していきます。

募集人数 **2名** 病床数 **159床**

(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目: 400,000円/月
給与2年目: 450,000円/月

研修プログラムの特徴

宇部・小野田地域を中心に予防から診断・治療・リハビリ・介護までを実践しながら、医療制度をよくする運動にも取り組んでいます。プライマリ・ケアの習得に最も適した中規模病院で、地域医療を進めつつ、「生活している」患者さんを実感しながら、自らの将来の医師像を描いていける臨床研修を実施します。

研修スケジュール例

1 年 目	内 6カ月		救 3カ月	小 1カ月	産 1カ月	精 1カ月
	内…内科、救…救急部門、小…小児科、産…産婦人科、精…精神科					
2 年 目	外 1カ月	地 1カ月	必須診療科・選択科から希望に応じて選択可能 10カ月			

選択科目…総合診療科、麻酔科、整形外科、眼科、皮膚科、耳鼻咽喉科、保健・医療行政、内分泌内科、神経内科

関連病院等

- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 宇部中央病院
- ・ 長門一ノ宮病院
- ・ 生協小野田診療所
- ・ 山口赤十字病院
- ・ 林道倫精神科神経科病院
- ・ 健和会大手町病院
- ・ 鳥取生協病院
- ・ 山口県庁
- ・ 下関医療センター
- ・ 美祢市立病院

主な勉強会

採血実習、抄読会、研修医カンファレンス、エコー研修、読影、全国並びに中国四国地域の他県研修医と一緒に研修・交流 など

プログラム
責任者

西村 洋一 医師



Q 当院の自慢は？

救急から、リハビリテーション、在宅医療まで幅広い医療を展開しています。また、無料低額診療という経済的に困窮した患者さんの負担を軽減する制度に積極的に取り組んでいます。



Q 研修内容のセールスポイントは？

受け入れられる研修医の数が少ない分、個々の先生とよく話し合いをしてオーダーメイドな研修ができます。他職種との垣根が低いので、チーム医療を実感しやすいと思います。



Q どんな指導を心掛けていますか？

支援と自主性のよいバランスを意識して、症例から一緒に学ぶ姿勢で指導していきたいと思っています。



Q 医学生へのメッセージ

勉強、運動、趣味など外へ出て幅広く活動にチャレンジしてください。

研修医

研修医2年目[久留米大学出身]

緒方 アキラ 医師



Q 研修先として選んだ理由

当院は「在宅療養支援病院」として在宅医療に力を入れています。自分自身、学生時代から地域医療・在宅医療に関心があり、それらを学びながら研修できる点、また、研修医の要望に柔軟に対応できる環境も魅力的でした。



Q この病院を選んでよかったこと

研修医への教育が充実していることです。当院では入職後、看護や介護の他、MSW・医療事務等も含めたコメディカルについて学ぶ期間があります。今後、診療に関わる職種について知ること、オーダーを出す際、他職種が実際にどのような動きをするのかイメージでき、適切な指示に繋がると考えています。



Q 研修で最も身についたこと

前述の他職種研修を経て、チーム医療における他職種の主な役割を把握することができました。採血・ルート確保、尿道留置カテーテル等実践的な部分は、事前にしっかり教育してもらったので、実際の診療ではスムーズに行うことができます。



医学生へのメッセージ 当院は研修医を育成する環境が充実しており、各個人に合った指導を受けることができます。研修医の要望も柔軟に取り入れて下さるので、自分のやりたいことを幅広く実現できると思います。また、当院は比較的小さな病院であるため他病院での研修も増えますが、その分当院では経験できなかった部分を経験でき、視野が広がると考えています。当院研修に興味のある方は、ぜひ見学にお越しください。



お問い合わせ先

担当部署：医局秘書課 | 担当者：林 | 電話：0836-33-6111
Eメール：hayashic399@gmail.com

山口労災病院

所在 〒756-0095 山口県山陽小野田市大字小野田1315-4

二次医療圏の中核をなす急性期型総合病院であり、地域医療支援病院として多くの登録医との間で紹介・逆紹介を行なっています。勤労者の健康福祉に関する政策医療は病院のもう1つの柱で、勤労者の心筋梗塞、脳梗塞、外傷などの急性期医療からリハビリテーション、予防医療まで幅広く取り組んでいます。

募集人数 **5名** 病床数 **308床**

(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目: 約500,000円/月
(日当直手当等込)
給与2年目: 約600,000円/月
(日当直手当等込)



研修プログラムの特徴

1年目の内科研修は、循環器内科、糖尿病・血液内科、消化器内科を合わせて24週ローテートし、救急患者の診療も併せて行います。2年目の地域医療は、市内の開業医から希望する医療機関を自身で選択。協力病院として登録する山口大学医学部附属病院や、小郡まきはら病院等でも研修することができます。

研修スケジュール例

1年目	内 (循環)8週	内 (血液)8週	内 (消化器)8週	救 8週	麻 4週	総 4週	産 4週	小 4週	精 4週
	内…内科、救…救急、麻…麻酔科、総…総合内科、産…産婦人科、小…小児科、精…精神科								
2年目	地 4週	外 4週	選 44週						
	地…地域医療、外…外科、選…選択科								

関連病院 等

- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 小郡まきはら病院
- ・ 横浜労災病院
- ・ 瀬戸整形外科クリニック
- ・ 森田病院
- ・ 吉中内科医院
- ・ 萩市民病院
- ・ 都志見病院 ほか

主な勉強会

各診療科カンファレンス:
各診療科〈週1回〉、
研修医カンファレンス〈月2回〉

指導医 [救急科部長]
河村 宜克 医師



Q 当院の自慢は?

25診療科を有しており、初期研修に必要なかつ十分な症例を経験できます。各診療科や病院スタッフ間の関係が良好です。また山口県内で初めて卒後臨床研修評価機構(JCEP)の認証を受けた病院です。



Q 研修内容のセールスポイントは?

ローテーションは希望をもとに柔軟に編成できます。また経験豊富な指導医のもと丁寧なマンツーマン指導を受けながら、主体性を持って実践的に診療を進めることができます。



Q どんな指導を心掛けていますか?

手技ができるようになるのも大切ですが、それだけでなく問題解決に必要な「考える力」を養うよう意識して指導しています。



Q 医学生へのメッセージ

医師になると医学部に入学し勉学に励んでこられたと思います。医師になるのはもう目の前です。しかしそれはスタート地点に立ったに過ぎません。皆さんの描く理想の医師像を現実にするために、共に歩んでいきましょう。

研修医 研修医2年目(山口大学出身)
飯橋 舞 医師



Q 研修先として選んだ理由

研修医の人数が少ないため、指導医からマンツーマンで指導して頂けそうであったこととローテーションや研修環境について研修医の意見を聞いてもらえる雰囲気であったからです。



Q この病院を選んでよかったこと

先生方やコメディカルの方がとても優しく、根気強く様々なことを教えていただけることや研究費で自分が勉強したい事柄に関する書籍を購入できることです。



Q 研修で最も身についたこと

毎日指導医からのフィードバックがあり、できたことと次から気をつけていきたいことを自分で言語化することによって少しずつですが自分なりの成長を感じています。



Q 医学生へのメッセージ

自分の性格ややりたい医師像に合わせて研修先を決めるのが良いと思います。山口労災病院では臨床実習や見学を受け入れているので、ぜひ一度いらしていただくと幸いです。



お問い合わせ先

| 担当部署: 総務課 | 担当者: 浜崎・阿座上 | 電話: 0836-83-2881
| Eメール: yamaguchirosai@yamaguchih.johas.go.jp

下関医療センター

所在 〒750-0061 山口県下関市上新地町3-3-8

急性期病院として191床の一般病床、地域包括47床をもち、専門的に特化する診療科を多数有するとともに、医療(病院・訪問看護ステーション)・保健(健康管理センター)の機能を統合して地域医療の中核を担い、広く健康増進に貢献する総合医療機関です。

募集人数 **5名**

(令和8年度 採用予定人数)

病床数 **315床**(一般病床191床、
地域包括47床
(休床あり))

待遇

給与1年目: 約526,000円/月

給与2年目: 約526,000円/月

(当直手当は超過勤務手当として支給)

賞与2回(夏季・冬季): 246,000円

(1年目夏のみ73,800円)

研修プログラムの特徴

基幹型研修病院であるとともに、山口大学、熊本大学の卒後初期臨床研修の協力病院として大学のプログラムを共有する。内科・外科科目の中では、地域の脳神経疾患の中核を担っている脳神経外科、消化器内科・消化器外科の科目を研修することができます。また、地域で初めて、総合診療科を設置し、下関市26万人の充実した救急症例を学ぶことができます。※山大とたすき掛け研修可能。熊大は不可。

研修スケジュール例

1 年 目	消 8週	麻 4週	外 4週	選 4週	血 4週	糖 4週	救 8週	小 4週	産 4週	精 4週	選 4週
	3週目より救急部門当直(救急部門ローテーション時は6回/月、それ以外は4回/月)										
	消…消化器内科(内科)、麻…麻酔科、外…外科、選…選択科、血…血液内科、糖…糖尿病内分泌内科、救…救急部門、小…小児科、産…産婦人科、精…精神科										
2 年 目	地 4週	糖 8週	総 4週	選 4週	救 4週	選 28週					
	救急部門当直(救急部門ローテーション時は6回/月、それ以外は4回/月)										
	地…地域医療、糖…糖尿病内分泌内科、総…総合診療科(一般外来)、選…選択科、救…救急部門 ※診療科の日程は研修医の選択、指導医の都合で調整する。										

プログラム [消化器外科]

責任者

西村 拓 副院長



Q 当院の魅力は?

歴史、絶景、観光などの有名スポットが多数あり、海産物、コリアングルメなど食べ物にも恵まれています。また九州とのアクセスも良く、田舎と都会がバランスよく共存している街です。教育、生活の両面で充実した研修環境を提供しています。



Q 研修内容のセールスポイントは?

豊富なスタッフを擁していることに加え、近隣に点在する総合病院、精神科病院、療養型病院と密に連携をとり幅広い臨床研修を学べます。また、個々の希望に応じた研修内容も可能な限り対応しています。



Q どんな指導を心掛けていますか?

個々の希望に添えるような研修を心掛けています。また医師としての、しっかりとしたライフプラン、キャリアデザインを築くための指導とサポートに努めています。昨今の働き方改革にも十分留意した対応を行っています。



Q 医学生へのメッセージ

医師とは一生をかける価値のある仕事だと思います。また、初期研修は今後のキャリア形成において重要となってきます。当院で共に働き、希望に満ちた医師生活を始めてもらえればと思います。

研修1年目 [九州大学出身]

研修医

楯林 英一郎 医師



Q 研修先病院として選んだ理由は?

カリキュラムの自由度が高く、自分の志望科に合わせて柔軟に研修が組める点に魅力を感じました。また、医師同士はもちろん、医師と他職種の方とのコミュニケーションもスムーズで、病院全体の雰囲気良かったことも、ここで研修したいと思った大きな理由のひとつです。



Q 研修病院としての特色を教えてください

少数精鋭の体制で、研修医同士の仲が良く、助け合いながら学べる雰囲気があることが特徴です。高齢化が進む地域を支える中核病院として、地域医療にしっかりと関わることができるのも魅力です。さらに、救急車の受け入れも多く、救急対応の経験を積み中で実践的な力を確実に養えます。



Q この病院を選んでよかったことは?

各科に基本的に1人の研修医がローテーションする体制なので、じっくりと丁寧な指導を受けられます。特に指導熱心な先生が多く、日々の業務を通じて医師としての確かな実力を身につけることができている。また、診療科の垣根が低く、疑問があれば他科の先生にも気軽に相談できる、風通しの良い環境が整っているのも魅力です。



Q 医学生へメッセージ

初期研修先を選ぶときは、「自分が2年間どんな環境で成長したいか」を考えることが大切だと思います。下関医療センターは、研修医の主体性を尊重してくれる病院で、自分の興味や目標に合わせてのびのびと学べる環境が整っています。指導医の先生方はとても熱心で、どんな小さな疑問にも丁寧に向き合ってくれるため、日々の診療の中で着実に力がついている実感があります。また、少数精鋭の体制なので病院全体が研修医をしっかり見てくれており、安心してチャレンジできる空気があります。仕事だけでなくプライベートの時間も大切にできるため、無理なく自分らしく働けるのも大きな魅力です。実際に見学してみると、病院のあたたかい雰囲気や、研修医同士の仲の良さを肌で感じられると思います。ぜひ一度足を運んでみてください!



お問い合わせ先

| 担当部署: 総務企画課 | 担当者: 福田 | 電話: 083-231-5811

| Eメール: soumu@shimonoseki.jcho.go.jp

関門医療センター

所在 〒752-8510 山口県下関市長府外浦町1-1

当センターは国立病院機構の施設として、国の保健医療政策を第一線で推進する重要な使命を担っています。特に、がん、循環器病、成育医療（主として母性、小児に関する医療）についてそれぞれ国立がん研究センター、国立循環器病研究センター、国立成育医療研究センターを頂点とする全国の国立病院網と政策医療ネットワークを組み、高度先駆的・専門的医療の実施や研究、研修を精力的に進めています。

募集人数 **15名** **病床数** **400床**
（令和8年度 採用予定人数）

待遇 給与1年目：456,000円/月
 給与2年目：523,000円/月



研修プログラムの特徴

選択科が多いテラーメード式のため満足度の高い研修プログラムを組むことが可能です。2年間の研修期間中に総合外来、救急当直に参加し、プライマリ・ケアと救急研修の充実を図りながら、指導医の下で豊富な症例を経験できます。また多くの研修協力施設があり沖縄や香岐、海外での研修機会もあります。

研修スケジュール例

1年目	内 24週		救 8週		総 4週	外 4週	麻 4週	整 4週	選 4週
	内…内科、救…救急、総…総合診療科(一般外来)、外…外科、麻…麻酔科、整…整形外科、選…選択科								
2年目	小 4週	産 4週	精 4週	地 4週	選 36週				
	小…小児科、産…産婦人科、精…精神科、地…地域医療、選…選択科								

関連病院 等

- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 山口県立こころの医療センター
- ・ 山口赤十字病院
- ・ 周防大島町立大島病院
- ・ 下関病院 ・ 吉水内科
- ・ 四国こどもとおとなの医療センター
- ・ 北部地区医師会病院（沖縄県）
- ・ 長崎県香岐病院
- ・ 小倉記念病院
- ・ 公立みつぎ総合病院（尾道市）
- ・ 海外（WHO本部） ほか

主な勉強会

- 救急全例検討会（週1回）
- 研修医による救急症例勉強会（週1回）
- 指導医による勉強会（週1回）

プログラム責任者 [消化器内科] **戒能 聖治 医師**



研修医 [山口大学出身] **尾上 和希 医師**

- Q 当院の自慢は？** なんといっても病院の窓から見渡せる関門海峡のオーシャンビューは圧巻です。城下町長府の歴史的地区に隣接しており、心癒される環境で研修ができます。研修医宿舎は病院敷地内に隣接しており、しっかりと研修に取り組むには最適です。周囲にはショッピングモールや飲食店も点在しており、不自由なく過ごしてもらえます。美術館も近隣にあり、少し足をのばせば唐戸市場や水族館もあり、休日にも楽しむことができます。
- Q 研修内容のセールスポイントは？** 多くの研修医が所属しており、活気にあふれています。救急患者や総合診療患者が多く受診します。研修医にはこれらの初期対応に当たってもらうため、基礎的な臨床能力を身に付けることができます。研修医が主体の症例検討会や勉強会も毎週開催されており、多方面で実力を身につけることができます。国内外に多くの関連研修施設を有しており、ニーズに合った自由度の高い研修プログラムを組むことができます。
- Q どんな指導を心掛けていますか？** 自ら取り組んでもらえるように指導しています。研修医が自分で考え、問題点を挙げ整理し、指導医とのディスカッションを踏まえて解決に進んでいけるよう努めています。当院には豊富な知識と経験を有した幅広い指導医が多く在籍しています。個々の研修医の要望に合わせた指導を心掛けています。
- Q 医学生へのメッセージ** 当院で研修を行うことで、十分に満足してもらえるものと自負しています。研修医がはつらつと働く姿をぜひ一度見に来てください。

- Q 研修先病院として選んだ理由は？** 初期研修2年間は救急医療を重点的に学びたいと考えたためです。海が近く眺望が良い点もポイントでした。
- Q 研修病院としての特色を教えてください。** 同期の人数が多いこともあり、困った時には研修医同士で助け合う風土があります。当直業務では初期研修医がメインで初療にあたる点や、軽症～重症例まで幅広い疾患を経験できる点も挙げられます。
- Q 研修で身についたことは？** 特に救急対応の初療について、手技も含め幅広い疾患に対する対応力を身につけることができました。その過程で、主体的に学び知識を体系化する仕組みを構築できました。また、当直で僞軍孤進な状況であっても、なんとか乗り越える胆力を身につけることができたのは今後の大きな糧になると確信しております。
- Q 医学生へのメッセージ** 現在、地域の急性期病院が再編される過渡期にあり、当院もその渦中にあることを実感しております。その中で初期研修を送る日々は大変興味深い経験となることでしょう。国試勉強や部活など、色々大変かと思いますが頑張ってください！



お問い合わせ先

担当部署：研修部長 | 担当者：戒能 聖治 | 電話：083-241-1199
 Eメール：KanmonKenshuui@mail.hosp.go.jp

山口県 済生会 下関総合病院

所在 〒759-6603 山口県下関市安岡町8-5-1

県西部の基幹病院として平成17年に新築移転。地域の医療機関と連携し「心のかよふ質の高い医療」を提供しています。二次救急病院としてヘリポートも設置し、総合病院として標榜科は30科。小児救急拠点病院、地域周産期母子センター、地域医療支援病院、災害拠点病院、がん診療連携拠点病院に指定され、将来の専門医を見据えた総合診療能力を病院全体で育みます。

募集人数 **10名** 病床数 **373床**

(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目：約550,000円/月(手当含む)
給与2年目：約600,000円/月(手当含む)
賞与1年目：450,000円、2年目：600,000円

研修プログラムの特徴

幅広く知識が身に付くよう総合診療方式の研修を基準としながら、将来の専門医を考慮し、研修医の希望が叶えられるよう柔軟に配置。各部門多くの症例を実際に経験でき、各種カンファレンスに参加して総合的な知識を得ることが出来ます。同時にプライマリ・ケアのできる幅広い第一線の臨床医を育成します。

研修スケジュール例

1 年 目	内 (腎内、呼吸器、循環器、消化器) 24週 一般外来(週1日)	救 4週	小 4週	産 4週	外 6週	麻 6週
	内…内科、救…救急、小…小児(一般外来含)、産…産科、外…外科、麻…麻酔科					
2 年 目	地 4週	精 4週	残りの44週間は希望の科を自由に選択可能 必須の救急の残り8週間は当院輪番制の救急日直・当直を行う			
	地…地域医療、精…精神科					

関連病院 等

- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 下関病院(精神科)
- ・ 下関リハビリテーション病院(地域医療)
- ・ 下関市立豊田中央病院(地域医療)

主な勉強会

- 救急カンファレンス(毎週)、
- 内科合同カンファレンス(毎週)、
- 外科カンファレンス(毎週)

プログラム 責任者 [呼吸器内科] **宇山 和宏 医師**



Q 当院の自慢は？ 症例数が豊富で症例のバランスもとれており、各科の垣根も低く困った症例も気軽に相談できる環境があります。また医師、看護師、薬剤師、検査技師、メディカルスタッフのモチベーションが高く、病院が一丸となって熱い心で医療を行っています。

Q 研修内容のセールスポイントは？ 地域に密着した基幹病院であるため、プライマリケアから高度医療まで充実した研修を行うことができます。救急車の受け入れ件数も多く、多くの症例を経験できます。また各科での研修は、多くの優秀な指導医によるマンツーマンで対応しており、きめ細かい指導が可能です。さらに救急外来で難渋した症例を中心に、指導医も参加して症例検討会を毎週行い、症例の振り返りも行っています。

Q どんな指導を心掛けていますか？ 基本的な手技の習得および受け持った症例の診断・治療を主体的に考えてもらうこと、患者さんに耳をかたむけ、患者さんに合ったよりよい治療と一緒に考えていくことを心掛けています。

Q 医学生へのメッセージ 症例に偏りがなく、common diseaseから希少疾患まで、多くの症例を経験できる病院だと思います。よりよい医療を目指して一緒にがんばりましょう。

研修医 研修2年目[山口大学出身] **中村 優太郎 医師**



Q 研修先病院として選んだ理由は？ 私は大学6年生時、小児科と産婦人科に興味があり、周産期医療に強い当院に魅力を感じました。また、何度か見学に伺った際に指導医や研修医の先輩方がとても親身に接して下さったり、医師以外のコメディカルスタッフの方々も温かく受けて下さったことに居心地の良さを感じ、病院全体としての雰囲気の良いところにも惹かれたことと決めてとなりました。

Q 研修病院としての特色を教えてください。 当院の研修では、指導医の先生からマンツーマンで指導を受けることができ、研修医期間中に必要な手技を一通り学ぶことができます。また現在下関では、当院を含めた三病院の輪番で救急対応をしていますが、救急当番日には救急外来で軽症から重症まで様々な患者を診ることが出来ます。また、上級医のサポートも手厚いです。

Q 研修で最も身についたことは？ 救急当番日の救急外来でのファーストタッチは、基本的に研修医が全行っているため、様々な主訴に応じた初期対応や鑑別疾患を考える能力が身に付きました。また、フィードバックのためのカンファレンスも充実しているため、自分の臨床能力を着実にブラッシュアップしていくことができると感じています。

Q 医学生へのメッセージ 内科、外科、周産期をはじめ多くの診療科がある当院では、充実した研修医生活を過ごせると思います。病院の雰囲気もとても良いので、当院に少しでも興味のある方は、是非、病院見学にお越し下さい。



お問い合わせ先

担当部署：経営管理課 | 担当者：村田 智隆 | 電話：083-262-2300
Eメール：soumuka@simo.saiseikai.or.jp

下関市立市民病院

所在 〒750-8520 山口県下関市向洋町1-13-1

下関医療圏の中心的役割を担い、「安心の優しい医療を提供し、市民から信頼される病院を目指します」の基本理念のもと、地域から信頼される中核病院の役割を果たしています。悪性疾患、救急医療、生活習慣病の診療を重点項目に掲げ、感染対策にも注力。地域の医療機関と連携を図り、多様なニーズに対応できる医療機能の充実も強化しています。

募集人数 **5名** 病床数 **382床**
(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目: 530,000円/月 程度 当直手当含む
 給与2年目: 560,000円/月 程度 当直手当含む
 賞与2回 (夏季・冬季)

研修プログラムの特徴

必修科の内科24週、外科、小児科、産婦人科、精神科をそれぞれ4週、救急科12週(うち4週は麻酔科で研修、研修期間内の当直回数含む)、麻酔科を8週研修。地域医療は2年次に4週研修、残りの期間は選択科とし、研修医の希望も入れた研修計画を研修管理委員会で決定します。一般外来は内科・外科・地域医療の研修中に並行して研修を行います。救急当番日は副当直として月4回程度診察に従事します。

研修スケジュール例

1年目	内 24週	麻 8週	外 4週	小 4週	産 4週	精 4週	救 4週
	内…内科、麻…麻酔科、外…外科、小…小児科、産…産婦人科、精…精神科、救…救急科						
2年目	地 4週	1年次で修了しなかった必修科を行い、残りは選択科として自由に選ぶことができます。					
	地…地域医療						

関連病院 等

- ・ 下関市立豊田中央病院
- ・ 済生会下関総合病院
- ・ 下関病院
- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 山口赤十字病院
- ・ 済生会豊浦病院
- ・ 宇部協立病院

主な勉強会

救急に関する早期講義
 〈4月～5月下旬くらいまで〉、
 CPC〈年1回〉、BLS、ACLS、
 ICLSなど

プログラム [リウマチ膠原病内科]

責任者 大田 俊一郎 医師



当院の自慢は?

化学療法センター、透析センターを併設し多様なニーズに対応しています。また緩和ケア病棟では終末期医療を学ぶことができます。呼吸器腫瘍センター、脊椎・脊髄病センター、リウマチ・関節センターなどでは、診療科の垣根を越え総合的・専門的な診療を行っています。



研修内容のセールスポイント

少人数での指導で多くの手技・処置を経験できます。麻酔科研修、BLS・ACLSを修得することで、救急蘇生術を身につけます。また、研修医の希望を取り入れた勉強会を行っています。



どんな指導を心掛けていますか?

問診・診察・診断・治療における一連の論理的な思考はもちろんのこと、各検査の意図、結果の解釈など細かく指導を行います。また、医療技術だけではなく、医師として患者に向き合う姿勢など全人的に指導しています。



医学生へのメッセージ

まずは病院見学においてください。百聞は一見にしかず。当院の良さを分かっていたいただけたらと思います。

研修2年目[山口大学出身]

研修医 松島 諒典 医師



研修先病院として選んだ理由は?

内科を中心に多彩な診療科が揃っており、2年間の研修を通じて一般的な疾患から希少疾患まで、多岐にわたる疾患を経験できると思ったからです。また、2年次の選択期間が長く、自分のキャリアプランに合わせた研修ができるのも魅力でした。



この病院を選んでよかったことは?

研修医の人数が多すぎないため、きめ細かな指導を受けることができます。手技の機会も多く、着実に力をつけることができます。また、研修医の仲が良く症例検討もよく行います。



研修で最も身についたことは?

救急の初期対応は最も成長した部分だと思います。時間、場所、人的リソースが限られる救急当直では、日頃の学びを発揮できると共に実践で多くのことを学びました。



医学生へのメッセージ

解剖・生理を理解しておくこと必ず役に立つので、学生のうちに基礎医学を丁寧に復習することをお勧めします。また、たくさんの人と関わり、様々な経験を積むことは、勉強だけでは得られない重要なバックボーンになると思います。当院の研修に興味を持っていただけたらぜひ病院見学にお越しください。



お問い合わせ先

担当部署: 事務部 | 担当者: 濱崎・谷口 | 電話: 083-224-3850
 Eメール: kengaku@shimonosekicity-hosp.jp



現場での経験値が
大きくアップするのが当直。

山口県の

当直 レポート

ここでは山口県の
15の臨床研修病院の
当直についてピックアップ！
当直体制や
研修医の役割などを
チェックしましょう！！

1

岩国医療センター

当直体制	研修医2名と内科・外科系の指導医各1名で日直/宿直を担当
当直回数(月平均)	3回
当直時の患者数	約30人
当直手当	1年目、2年目共に 15,000円/月(実労働時間追加で加算)

研修医の役割 救急外来での宿日直業務。ファーストタッチとして、ある程度の診察や検査を行う。

指導医からのフィードバック 救急時が落ち着いた時や当直終了時に必ず振り返りを行う。

2

周東総合病院

当直体制	指導医1名、研修医1名
当直回数(月平均)	4回
当直時の患者数	10～15人
当直手当	日直:20,000円/回、当直:20,000円/回 副直:10,000円/回

研修医の役割 救急外来の日当直。研修科の指導医の日当直日に、指導医のもと、副直医として勤務。

指導医からのフィードバック 基本的に直後に口頭でフィードバックを行う。対応・診断・治療法について、十分ではないところや間違いを指摘して指導する。

当直で身に付く手技・知識 急患対応に必要な基本的な知識や循環確保・気管内挿管・皮膚縫合等の手技。

3

徳山中央病院

当直体制	内科当直指導医1名、外科当直指導医1名、 研修医1年目、2年目各1名(当直時 副直1名 17:30～22:00、土日祝日直のみ研修医1年 目2名、2年目1名)
当直回数(月平均)	3～4回
当直時の患者数	50人
当直手当	日直:1年次 38,880円/回、2年次 42,016円/回 当直:1年次 50,400円/回、2年次 54,462円/回

研修医の役割 救急外来日当直。1年・2年次研修医各1名が内科系当直指導医、外科系当直指導医のもと勤務。研修医が全てファーストタッチを行う。

指導医からのフィードバック 救急車症例と入院症例を毎朝救急モーニングカンファレンスで発表し、救急科指導医とディスカッション。研修医は自身の当直時以外でも朝カンファに参加するので、珍しい症例も疑似体験できる。

4

山口県立総合医療センター

当直体制	研修医1年目1名、2年目1名、内科指導医1名 (原則として初期研修医は内科系疾患のみ診療)
当直回数(月平均)	3～4回
当直時の患者数	40人
当直手当	21,000円/回 別途時間外手当を支給

研修医の役割 救急患者へのファーストタッチ、問診、診察、検査オーダーなど。

● **指導医からのフィードバック** Walk-in症例は問診・身体所見の後にアセスメントとプランを立てて指導医に相談、その後の診療を行う。救急搬送症例は指導医とともに問診や身体所見を取り、一緒にアセスメント等を行う。救急受診患者は、翌朝に救急専門医が画像や検査結果を確認し、見逃した所見や対応について個別に指導することも。

5

済生会山口総合病院

当直体制	指導医2名、研修医2名
当直回数(月平均)	3～4回
当直時の患者数	20人
当直手当	20,500円/回～21,700円/回 (救急体制等による)

研修医の役割 患者さんへのファーストタッチなど。

指導医からのフィードバック ファーストタッチ後、報告時にディスカッションを行って方針を決定。患者が帰った後、または後日に相談という形でフィードバックを実施する。

当直で身に付く手技・知識 心電図、MRI、CTなどの読み方、挿管。

6

総合病院 山口赤十字病院

当直体制	指導医2名、研修医1～2名
当直回数(月平均)	4回
当直時の患者数	10～20人程度
当直手当	20,000円+実績分/回

研修医の役割 上級医の指導のもと副当直に入り、ファーストタッチ、トリアージ、検査オーダー、処置などを行う。

指導医からのフィードバック 当直の場で足りなかったことなどを教えてもらう。必要ならば後日カンファレンス形式で症例検討し、フィードバックする。

当直で身に付く手技・知識 救急患者への一通りの必要な検査や処置。

7

小郡第一総合病院

当直体制	指導医2名、研修医1名
当直回数(月平均)	2回程度(二次救急当番日において)
当直時の患者数	15人程度
当直手当	20,000円/回

研修医の役割 指導医の下での診察など、ファーストタッチを行う。

指導医からのフィードバック 指導医がマンツーマンで指導し、その都度指導医が疑問に対し答える。必要であれば後日症例検討も行う。

当直で身に付く手技・知識 救急患者に対する初期・基本的な検査及び処置。

当直体制	指導医1名、研修医1名
当直回数(月平均)	2回
当直時の患者数	15人程度(病院全体)
当直手当	臨床研修手当に含む

研修医の役割 各科研修中の当直では、各診療領域疾患の初期対応(診察、採血、エコーなど)を行います。先進救急医療センターにおける研修では三次救急の対応を学びます。

指導医からのフィードバック 指導医がマンツーマンで指導し、その都度フィードバックを行います。診察から治療方針決定までの流れについて振り返り、手技の指導や画像読影も行います。

当直で身に付く手技・知識 基本的疾患の初期対応全般(採血、ルート確保、エコー、CT・MRI読影、心肺蘇生、縫合止血など)。

当直体制	指導医1名、研修医2名 (土日祝日で二次救急日の日直は指導医2名)
当直回数(月平均)	4~7回
当直時の患者数	10人前後
当直手当	1年目:平日 9,500円/回、休日 12,000円/回 2年目:平日 10,000円/回、休日 12,000円/回

研修医の役割 指導医の下、あらゆる救急患者に初診対応することで、プライマリーケアにおける問診能力と基礎技術の習熟を図る。

指導医からのフィードバック 形式的なものはないが、親切的な先生ばかりなのでわからないことは質問しやすい。専門の先生に紹介すると後日、患者さんの状態を教えてください。

当直で身に付く手技・知識 救急でのABCD。

当直体制	指導医1名、研修医1名(副直として)
当直回数(月平均)	3~4回(副直として)
当直時の患者数	5~10人程度
当直手当	10,000円/回(1年次) 15,000円/回(2年次) (副直手当として)

研修医の役割 指導医のもとで、副直として勤務。指導医とともにファーストタッチを行う。

指導医からのフィードバック その都度振り返りを実施、指導医からフィードバックを行う。レポートを提出して評価を受けることも。

当直で身に付く手技・知識 静脈・動脈採血、ルート確保、止血、縫合、腰椎穿刺等の手技、心電図、エコー、CT、MRIなどの読み方、全身を診るための知識。

当直体制	研修医1名、指導医は内科系・外科系各1名
当直回数(月平均)	4回
当直時の患者数	8.6人
当直手当	21,000円/回+実働時間分の時間外勤務手当

研修医の役割 指導医のもとアナムネ聴取や身体診察・検査のオーダー、治療を実施する。

指導医からのフィードバック その場で丁寧なアドバイスがあり、患者が入院した場合、入院後の経過についても報告を受けることができる。

当直で身に付く手技・知識 患者トリアージ、基本的かつ重要な診察・診断手技治療や一般処置。

当直体制	指導医2名(内科系・外科系各1名)、 研修医1~2名
当直回数(月平均)	月4回(救急部門選択週は6回)
当直時の患者数	20人程度(病院全体)
当直手当	超過勤務手当として支給

研修医の役割 指導医・上級医(内科系・外科系各1名)の指導のもとファーストタッチを行い、処置や治療を行う。

指導医からのフィードバック 当直の現場で丁寧な指導があり、後日、症例検討会でフィードバックを受けることができる。CPCの指導あり。

当直で身に付く手技・知識 救急部門(外来)としての初期対応(採血、ルート確保、画像診断読影、心肺蘇生、患者・家族への対応等)

当直体制	輪番日(3日に1回):指導医3名(1名は放射線科医)、 研修医6名 非番日(3日に2回):指導医1名、研修医2~3名
当直回数(月平均)	6~8回
当直時の患者数	輪番日:20~25人、非番日:5人
当直手当	20,000円/回+時間外手当

研修医の役割 救急全症例のファーストタッチを研修医が行う。血液検査、CT検査なども研修医の判断で実施。

指導医からのフィードバック 鑑別診断まで行った後に指導医に相談し、フィードバックを受ける。週1回、救急症例全例の振り返り検討会を指導医と共に開催。

当直で身に付く手技・知識 救急症例の検査(エコーなど)から鑑別診断、治療計画までを1人で出来るようになる。動静脈穿刺、縫合、挿管などほぼ全ての臨床手技が身に着く。

当直体制	指導医2名、研修医適宜
当直回数(月平均)	適宜
当直時の患者数	20人程度
当直手当	25,000円~30,000円程度/回

研修医の役割 ファーストタッチを担い、指導医とともに救急外来から病棟入院までの対応を行う。

指導医からのフィードバック 救急現場での検査や診察の在り方、どの程度治療が必要か、また、その後の経過や当直時の対応の反省点などの指導を受ける。

当直で身に付く手技・知識 外傷の処置、救急外来としての検査の在り方、静脈ルート確保、CPRの実践など。

当直体制	指導医2名、研修医2名
当直回数(月平均)	4回
当直時の患者数	15人程度
当直手当	25,000円/回

研修医の役割 救急当番日の副当直として勤務。全てファーストタッチを行う。必ず内科系医師1名、外科系医師1名、管理当直医1名の3名がバックアップする。

指導医からのフィードバック 指導医より適宜診断や治療方針のディスカッションを実施。注意すべきポイントについても指導します。

当直で身に付く手技・知識 基本的疾患の初期対応。外科的手技、CPRの実施など。